平成二十年度一般会計予算外二件両院協議会

（1）協議概観

平成20年1月18日国会に提出された平成二十年度総予算3案は、2月29日衆議院で可決されたものの、3月28日参議院で否決された。衆参両議院の議決が異なったため、衆議院から両院協議会を求められ、同日の本会議において、院議を構成した会派である民主、共産、社民の各会派から協議委員を選任した。

協議委員は直ちに両院協議会参議院協議委員議長及び副議長互選会を開き、議長に櫻井充君を、副議長に小川勝也君を互選した。

両院協議会においては、まず、くじによる抽せんの結果、衆議院側の逢沢一郎協議委員議長が協議会議長となった。その後、両院における議決の趣旨説明が行われ、その後各協議委員から種々意見が述べられた。最後に、参議院側を代表して小川勝也協議委員から、また、衆議院側を代表して田野瀬良太郎協議委員から、それぞれ締めくくりの発言が行われたものの、成案を得るに至らず、その旨各議院に報告することとなった。

両院協議会の後、衆参両議院の本会議において両院協議会の経過及び結果について各議院の協議委員議長からそれぞれ報告が行われた。その結果、平成二十年度総予算3案は、憲法第60条第2項の規定により、衆議院の議決が国会の議決となった。

（2）協議経過

〇平成20年３月28日（金）（第１回）

○成案を得なかった。

（3）平成二十年度一般会計予算外二件両院協議会参議院協議委員議長報告

平成二十年度一般会計予算外二件両院協議会の経過及び結果について御報告申し上げます。

本院協議委員は、先ほどの本会議におきまして、議長より指名されました後、直ちに協議委員議長及び副議長の互選を行い、その結果、協議委員議長に私、櫻井充が、副議長に小川勝也君が選任されました。

なお、衆議院におきましては、逢沢一郎君が協議委員議長に、中山成彬君が副議長に選任されました。

両院協議会の初会の議長はくじにより決することとなっておりますので、開会に先立ち抽せんを行いました結果、また衆議院側協議委員議長の逢沢一郎君が議長に当選されました。

協議会におきましては、衆議院側の中山成彬君から、地域活性化等の重要政策課題に予算配分を重点化していること、歳出改革路線を堅持していること、無駄の排除のため徹底した予算の効率化を図っていること等の理由で賛成、次に、本院側羽田雄一郎君から、道路特定財源を維持し、暫定税率を延長していること、政管健保への国庫負担を健保組合に肩代わりさせていること、景気対策が不十分であること、税収の過大見積りが濃厚であること等の理由によって反対と、それぞれ議決の趣旨の説明が行われました。

次に、協議に移りましたところ、本院側協議委員の民主党･新緑風会･国民新･日本の津田弥太郎君、日本共産党の仁比聡平君、社会民主党･護憲連合の近藤正道君から、また、衆議院側協議委員の自由民主党の森英介君、公明党の西博義君から、それぞれ種々の発言があり、双方において熱心な意見交換が行われました。

かくて協議終結に当たり、本院側の小川勝也君から、両院協議会として参議院側が指摘した予算三案に反対する理由として掲げた諸事項を除去することによって平成二十年度予算が成立できるよう、衆議院側に協力を要請する旨の意見が述べられました。また、衆議院側の田野瀬良太郎君からは、平成二十年度予算は現状において最良の予算と考えており、憲法の規定に基づき衆議院の議決どおりお願いしたい旨の意見が述べられました。

結局、意見の一致を見るに至らず、成案が得られませんでした。

以上、御報告申し上げます。

（4）協議表

案　件	請求議院	請求の理由	請求日	本院協議委員選挙日	両院協議会開会日	成案の議決		備　考
						参議院	衆議院	
平成二十年度一般会計予算外二件	衆議院	両議院議決不一致	20.3.28	20.3.28	20.3.28	協議会において成案を得なかった		憲法第60条第2項により衆議院の議決が国会の議決となった

（5）協議委員

議　長　櫻井　　充（民主）　榛葉　賀津也（民主）　仁比　　聡平（共産）
副議長　小川　　勝也（民主）　津田　弥太郎（民主）　近藤　　正道（社民）
　　池口　　修次（民主）　羽田　雄一郎（民主）
　　尾立　　源幸（民主）　水岡　　俊一（民主）